

施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策	3	産業・雇用
主要施策名	15	観光・交流
5年後の まちの姿	○豊かな自然や歴史・文化等を舞台に、おもてなしの心を持った市民と何度も胎内市を訪れるファン、新たな観光客との活発な交流が行われています。	
施策展開の 基本的な考え方	行政は、市内の主要な観光施設の適切な運営とともに、まちぐるみで着地型観光を推進するための合意形成に向けた支援等に取り組みます。 市民等は、地域の魅力に誇りを持ち、観光客の受入れに理解を示し、それぞれの立場からおもてなしに協力します。	
実現に向けた 取組	①魅力的な観光プランの提供 ②食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大 ③施設・エリアの魅力向上と閑散期対策 ④効果的・効率的な情報発信	
施策担当課	商工観光課	
施策関係課・係	農林水産課 農村交流係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	604,768	781,935			
事務事業数	21	21			
うち、事務事業評価対象	17	17			

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
観光入込客数〔年間〕	千人	835	1,022	973				1,300
胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数〔年間〕	人	627	592	475				2,000
道の駅胎内（観光交流センター）の売上〔年間〕	千円	9,017	10,496	12,342				9,880
既存施設のオフシーズン活用数〔年間〕	件	2	2	4				5
観光協会ホームページビュー数〔月平均〕	千ビュー	17	17	15				30
成果指標による 現状分析	観光入込客数〔年間〕については、胎内星まつりや中条まつりが通常開催となり増加した一方、少雪のため胎内スキー場の来場者が大幅に減少したため、令和4年度よりも減少した。 胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数〔年間〕については、5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、事業年度途中ということもあり農泊受入れができずに減少した。 道の駅胎内（観光交流センター）の売上〔年間〕については、道の駅スタンプラリーなどにより来客数が昨年度より約3,000人多く、売店売上の増加につながった。 既存施設のオフシーズン活用数〔年間〕については、スキー場駐車場を活用したジムカーナ、山あいの小さなお祭りや重機パイロット選手権、スキー場のゲレンデを活用したパラグライダーの4件であった。 観光協会ホームページビュー数〔月平均〕については、インスタグラムなどのSNSの投稿内容を充実させたことにより、ホームページビュー数が減少したと思われる。							

3 施策の進捗状況

達成度	△ やや遅れている
評価の理由	新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことに伴い、大規模イベントも通常開催となったが、少雪の影響で胎内スキー場の来場者数が減少し、観光入込客数が昨年度より少なくなった。その他についても、順調とは言えない指標もあるため、やや遅れていると判断した。

4 取組の状況と今後の方向性

① 魅力的な観光プランの提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 市内の豊かな自然や各種観光資源、歴史・文化資源、イベント等を活用した、誘客・消費につながる季節ごと、目的別の重点モデルコースを作成し、店舗やガイド等の受入体制、情報発信も含めたパッケージ化に取り組みます。 モデルコースの作成に当たっては、各種団体や市民、学生等協力者の力を借りて、街並み等の新しい魅力の掘り起こしや体験プログラムの開発を行います。 胎内型ツーリズム推進協議会 301 人会や受入農家と協力して、教育体験旅行・ふるさと体験学習等の提供を継続します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> 市内の多種多様な観光資源をパッケージ化し、ニーズに沿った奥胎内ダムツアーなどの魅力的な観光プランの作成に努めており、「いどり胎内」を年2回（春夏号）（秋冬号）発行し観光プランを周知している。 各種団体やボランティアガイドと連携し、魅力の掘り起こしや体験プログラムの開発を行っている。◆アウトドア志向や体験型観光の高まりによって、豊かな自然を活かしたアウトドアアクティビティが堅調であった。 小学校や専門学校等の受入については、農泊を伴わない集合泊での受入を実施。◆新型コロナウイルス禍で中止していた農泊の再開に向け受入世帯の募集を開始。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆モデルコースについては、パンフレット等での情報発信に加えて、SNS 等でも発信する必要がある。 ◆観光客のニーズを見極めるとともに、市内の地域資源を最大限に引き出すようなプログラムの開発に、地域住民、民間団体等と更に連携を深め取り組む必要がある。 ◆十分な受入世帯を確保し、安定した教育体験旅行の提供を可能とする。

② 食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅や物産館等への誘客を図るため、観光客だけでなく地元消費者のニーズを捉えた商品開発や販売方法等の提案、働きかけを行います。 魅力的な飲食施設やレジャー施設を発掘し、観光プランへの反映や積極的な PR を行います。 地域の食材等を使用した商品・メニューを提供している菓子店・飲食店等と連携し、集客につなげる取組を行います。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆農産物生産団体、地域おこし協力隊 0B・0G、個人農家などの安心・安全な農産物等の販売を行い、地元消費者ニーズに対しても対応した。 ◆胎内市産ブドウ 100%の胎内高原ワインを絡め、極上ワインと村上牛のプラン、アフタヌーンティープラン、贅沢ゆとり旅プラン、胎内川 SUP 体験付プランなどを計画し、好評を得ている。 ◆胎内市商工会で、市内小学生から胎内市産へにはるかを使用したスイーツのアイデアを募集し、市内菓子店等が商品化するスイーツフェアを毎年開催しており、集客につながる取組を行っている。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆地元消費者のニーズを更に把握した商品販売が必要となる。 ◆道の駅や物産館等へ誘客促進には、胎内の魅力に触れる場を創出する必要がある。 ◆観光客のニーズを見極めるとともに、市内の地域資源を最大限に引き出すようなプログラムの開発に、地域住民、民間団体等と更に連携を深めながら取り組む。また、レジャー施設の発掘については、情報収集や視察を行い検討していく。 ◆地域食材を使用している菓子店や飲食店に集客できる取組を、民間団体等と連携していく。

③ 施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿化対策と併せた再整備やスキー場のオフシーズン活用など、閑散期対策で施設の有効活用を図ります。運営の効率化に高い効果が期待できる場合には、指定管理者制度等の導入を検討します。 特に老朽化の進んだ施設や利用が著しく少ない施設、教育等その他の分野での活用が余り期待できない施設については、廃止や用途変更も含めて今後の活用方針を検討します。 鉄道や観光バスで地域を訪れる人のための二次交通を提供する方策を検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆施設の長寿化については、辺地対策事業債を活用した大規模改修等を実施しており、一般財源を抑えた中での改修を進めている。 ◆スキー場のオフシーズン活用については、各種団体にも有効活用してもらうように働きかけをしている。 ◆利用状況が少ない施設等に関しては、選択と集中の中で方針を検討している。 ◆デマンドタクシーのれんす号のほか、秋の行楽シーズンには土日・祝日限定の「くると胎内」を運行した。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆スキー場のオフシーズン活用や閑散期対策を引き続き検討していく。 ◆活用が余り期待できない施設については、活用方針を引き続き検討していく。 ◆デマンドタクシーのれんす号とくると胎内の運行を市外に周知していく。

④ 効果的・効率的な情報発信

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 観光拠点やその周辺環境整備や景観整備、デザイン性の高いサインの設置等、地域の魅力向上につながる方策を検討します。 観光協会をはじめとする関係団体と協力して各種メディアへの働きかけや SNS の活用等を強化し、胎内市の観光情報を積極的に発信するほか、新発田市、聖籠町等の近隣の市町村や観光地と連携して情報発信や集客の強化を図ります。 胎内市の観光による効果については、観光入込客数、主要観光施設売上高など各種統計の推計を行い、それをホームページ等に掲載し、市民に分かりやすい形で情報発信を行います。
これまでの主な取組と実績

- ◆観光拠点を中心に、胎内市観光サインマスタープランのとおり計画的に更新している。場所により老朽化したものは撤去している。
- ◆商工観光課フェイスブック、樽ヶ橋遊園ブログ、インスタグラムなど SNS を活用して観光情報を発信するとともに、胎内市観光協会のホームページ、ブログ、フェイスブックなどの活用に関しても、連携を図り、情報発信を実施している。
- ◆行政改革推進委員会資料、行政評価シート、事務事業評価シートにより観光入込客数、主要観光施設売上高を公表している。

主な課題と今後の対応

- ◆胎内市観光サインマスタープランに基づき、老朽度や入込客数などにより優先順位を決め計画的に改修を行う。
- ◆胎内市観光協会及び㈱胎内リゾートと更なる連携を図り SNS 等を活用していく。また、市民団体とも連携を図り、情報発信を行う。
- ◆定住自立圏広域観光推進協議会の新発田市と聖籠町と連携しながら、情報発信や集客の強化を図る。
- ◆観光による効果については、市民に分かりやすい形で情報発信をしていく。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
<p>施策方針に関する説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の観光資源を活かした体験プラン等を観光振興推進サポーターや関係団体と連携し、観光交流人口の拡大を図る。 ◆「オールシーズン胎内」の核となるロイヤル胎内パークホテルの四季折々の魅力的なプランの提供により、個人の顧客満足度を向上させるよう、指定管理者である株式会社胎内リゾートと連携していく。 ◆定住自立圏広域観光推進協議会の新発田市と聖籠町と連携し、インバウンドを始め、広域圏外の誘客に取り組む。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R5		R6		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
330110	チューリップフェスティバル事業	3,408	3,408	3,552	3,552	○	③	農林水産課
330111	フルーツパーク運営事業	8,810	7,666	9,010	8,256	◎	③	農林水産課
330112	フラワーパーク運営事業	6,275	6,103	7,357	7,022	◎	③	農林水産課
330114	胎内型ツーリズム推進事業	834	834	1,040	1,040	×	③	農林水産課
330120	避難小屋・登山道関連事業	9,295	6,446	10,499	7,294	△	③	商工観光課
330210	農業まつり事業	555	555	538	538	△	③	農林水産課
330310	塩の湯施設管理事業	9,432	8,022	9,815	7,871	◎	③	商工観光課
330311	海水浴場管理運営事業	2,805	2,805	2,931	2,814	○	③	商工観光課
330312	はまなすの丘維持管理事業	2,301	2,212	2,174	2,044	○	③	商工観光課
330313	観光物産館管理事業	3,104	3,104	4,178	4,152	△	③	商工観光課
330316	ロイヤル胎内パークホテル運営事業	300,202	109,522	169,158	45,927	△	②	商工観光課
330317	奥胎内ヒュッテ管理事業	621	621	1,535	1,525	×	-	商工観光課
330318	クアハウスたいない管理事業	157,977	23,877	38,439	25,902	△	②	商工観光課
330319	樽ヶ橋遊園運営事業	42,425	1,273	33,026	0	△	②	商工観光課
330320	胎内スキー場管理事業	161,641	10,341	151,527	12,580	×	③	商工観光課
330322	観光交流センター運営事業	29,174	11,374	11,842	11,812	◎	③	商工観光課
330410	観光振興事業	35,663	35,572	38,627	38,616	○	②	商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330110		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者	
事務事業名	チューリップフェスティバル事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目 款 項 目	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流	中	01	魅力的な観光プランの提供		01	農業費
			小	10	チューリップフェスティバル事業		05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市及びチューリップフェスティバル実行委員会が主催となり、観光と農業を結び付けたイベントを開催し、市産チューリップの振興と地域の活性化を図る。
主な実施内容	チューリップフェスティバルの開催。 ○オープニングイベント ○チューリップウエディング ○高所作業車乗車体験 ○人力車運行 ○チューリップ写真コンテスト ○チューリップイルミネーション
実施方法	市が直接実施+委託+補助・負担

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	2,807	3,408	3,552			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	2,807	3,408	3,552	0	0	
人件費（千円）	937	2,362	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※事業 ※事業 任用(h) 費	860	2,000	0	0	0	
委託料	0	525	0	0	0	
総事業費+人件費	3,744	5,770	3,552	0	0	
財源「その他」内訳						
事業費の主な支出内容	委託料2,079千円、職員手当1,150千円、需用費126千円、役員費53千円					
単位コスト	算出方法	(総事業費+人件費)/入場者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		76.8円	71.8円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	市内事業者出店数	市内事業者出店数	市内事業者出店数	市内事業者出店数	
	目標	6事業者	6事業者	6事業者	6事業者	
	実績	4事業者	8事業者			
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	
	目標	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人	
	実績	48,767人	54,311人			
	目標比	81.3%	90.5%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○			
評価の理由	新型コロナウイルス感染症が5類に移行する直前の開催であり、前年度よりも来場者数は増加したものの目標に達しなかったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

R4コロナ禍での開催のため入口に消毒液や、注意看板を会場内に設置し安全な開催に努めた。
R5チューリップイルミネーション開催
R5チューリップフェスティバル会場整備工事（通路舗装）

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	生産者、J A、観光協会を構成員に含む実行委員会で運営している。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 時間帯によって渋滞することがある PRの強化 SNS等での情報発信

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③	③			
<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の増設を検討する。 混雑緩和に向け動線の見直しを行う。 ライブカメラ等を設置し駐車場の状況などを発信する。 会場整備計画を作成する。 SNSなどを利用する他、メディアに働きかけ、市外、県外からの誘客を図る。 海外からの誘客に向け、看板等の多言語表記を進める。 					

9 二次評価委員会所見

<p>今後の方向性</p> <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> <p>コスト投入の方向性</p>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
拡充	×	④	②	①																					
維持	×	⑤	③	×																					
縮小	×	⑥	×	×																					
休廃止	⑦	×	×	×																					
	削減	縮小	維持	拡大																					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330111		担当課	農林水産課	担当係	農産振興係	担当者	
事務事業名	フルーツパーク運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目 款 項 目	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流	中	01	魅力的な観光プランの提供		01	農業費
			小	11	フルーツパーク運営事業		05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	胎内市フルーツパーク条例	関連計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	やすらぎのある憩いの場の整備によって、都市農村交流の拡大及び果樹の振興と活性化を図る。 今後は加工用ブドウの植栽も進めワイン原料の確保に努める。
主な実施内容	・ 植栽果樹の適切な栽培管理 ・ 施設の維持管理、生産物の販売
実施方法	委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ワイン用ブドウの植栽が進んだことや天候にも恵まれ、目標とする収穫量を達成することができた。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【R4】	・ 新潟食料農業大学との連携による収穫ボランティアの受入
【R5】	・ 新潟食料農業大学との連携による収穫ボランティアの受入 ・ 黒川小学校児童による葉かき、収穫作業体験の受入

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	10,258	8,810	9,010			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	661	1,144	754			
一般財源	9,597	7,666	8,256	0	0	
人件費（千円）	28	28	0	0	0	
正（h）※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費	15	15	0	0	0	
委託料（h）※事業費 ※事業費 ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	10,286	8,838	9,010	0	0	
財源「その他」内訳	フルーツパーク生産物売払収入 1,144千円					
事業費の主な支出内容	委託料8,800千円、役務費9千円					
単位コスト	算出方法	総事業費における収穫量1kg当たりの経費 総事業費/収穫量				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		11.6千円	4.1千円			

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	協働の可能性、在り方を検討していく。

7 事業の課題

施設の圃場は約0.5haであり、栽培本数も少なく多くの収穫は望めないが、毎年安定した収穫量を確保するため、栽培方法、効率的な管理体制となるよう検討する必要がある。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	栽培本数 (ワイ運用ブドウ)	ワイン用 ブドウ栽培本数	ワイン用 ブドウ栽培本数	ワイン用 ブドウ栽培本数
	目標	1,000本	1,000本	1,000本	1,000本
	実績	1,005本	993本		
成果指標	名称	収穫量	収穫量	収穫量	収穫量
	目標	850kg	1,000kg	1,300kg	1,500kg
	実績	882kg	2,149kg		
	目標比	103.7%	214.9%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③	③			
・ ワインの新商品の開発となるため、引き続き、生食用ブドウ、加工用ブドウを栽培し、ワイナリーに出荷する。 ・ 施設及び植栽果樹等の管理運営について、どのような手法であれば効果的・効率的に運営がなされ、かつ経費節減が図られるかを引き続き検討していく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大
成果の方向性	◎	◎	△	△	△	△	△	△
コスト投入の方向性	◎	◎	△	△	△	△	△	△

今後の方向性								
成果の方向性	拡充	◎	◎	△	△	△	△	△
	維持	◎	◎	△	△	△	△	△
	縮小	◎	◎	△	△	△	△	△
	休廃止	◎	◎	△	△	△	△	△
コスト投入の方向性	◎	◎	△	△	△	△	△	△

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330112		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者	
事務事業名	フラワーパーク運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目 款 項 目	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流	中	01	魅力的な観光プランの提供		01	農業費
			小	12	フラワーパーク運営事業		06	フラワーパーク費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内リゾートエリア内にある施設であることから周辺観光施設と連携し、市民へのやすらぎある憩い場の提供、観光交流人口の拡大及び園芸の振興の地域活性化を図る。
主な実施内容	・春から秋にかけての草花や草木を植栽しているほか、芝広場や東屋の設置により様々な年齢層の人々が憩える空間を作っている。 ・ボランティアを受入れし、園内整備を行い、経費削減を図った。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	5,802	6,275	7,357		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	280	172	335		
一般財源	5,522	6,103	7,022	0	0
人件費（千円）	3,746	3,658	0	0	0
正(h)	2,000	1,953	0	0	0
※事業費 ※事業 任用(h) 費用	1,974	1,946	0	0	0
総事業費+人件費	9,548	9,933	7,357	0	0
財源「その他」内訳	人工培養施設使用者負担金 170千円、フラワーパーク自動販売機収入 2千円				
事業費の主な支出内容	給料（会計年度任用職員） 2,171千円 種苗代 1,264千円 定植作業等業務委託料 881千円 光熱水費 666千円				
単位コスト	算出方法（総事業費+人件費-工事費）/入園者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2,870円	2,037円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	188日	188日	188日	188日	
	実績	186日	191日			
成果指標	名称	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数	
	目標	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	
	実績	3,330人	3,080人			
	目標比	111%	102%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標の達成状況等による。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

R4地域おこし協力隊と連携しイベントを開催
R4～植栽の苗の種類を絞り、なるべく手間のかからない品種で経費の削減を図った。
R4～人件費を抑制し最低限の人員で管理を行った。R5市民有志の協力により入口棟内での絵画展示を実施。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	不定期ではあるが、ボランティアスタッフが来ている。また、開園中2回程度黒川中学校の生徒が奉仕活動として、園内の草取り等を行っている。

7 事業の課題

・少人数管理のため除草管理に苦慮している。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
	・市報等でボランティア募集を行い人数確保に努める。 ・来場者アンケート等の意見を参考に、より親しみやすい公園となるよう努める。				

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎	◎
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330114		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者	
事務事業名	胎内型ツーリズム推進事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33 観光・交流		予算科目	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流	中	01 魅力的な観光プランの提供			01	農業費
			小	14 胎内型ツーリズム推進事業			05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令		関連計画		
	法令による義務付け			関連例規				
				任意				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	都市住民に自然や農業体験の場を提供することを通じて、農家・地域住民の生きがいを創出するとともに地域農業の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと体験学習および体験教育旅行の受入 県内等小・中・高・専門学生の体験教育旅行の誘致 着地型企画の造成及び日帰り型体験活動の利用促進
実施方法	その他

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	×			
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校及び県内の学校等の限定的な活動となった。 5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、事業年度途中ということもあり、農泊受入ができなかったことから達成度を×とした。 				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

R4観光ボランティアガイド等地域の先生の積極的な活用
R4新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から農泊中止
R5・胎内市観光ボランティアガイドや新潟県なりわいの匠等地域の先生の積極的な活用
R5農泊受入民家、体験活動実践者を対象とした各種研修会の実施

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	908	834	1,040		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	0		
一般財源	908	834	1,040	0	0
人件費（千円）	1,873	1,873	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 任用(h) ※事業費	○ 1,013	1,013	0	0	0
総事業費+人件費	2,781	2,707	1,040	0	0
財源「その他」内訳	301人会負担金 500千円 燃料費 152千円				
事業費の主な支出内容					
単位コスト	算出方法 (総事業費+人件費) / 述べ体験者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	4,698円	5,699円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	体験に必要な講師等について、市内の事業者や個人へ依頼している。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 今まで農家民泊を受入れてくれていた世帯の高齢化や意欲低下により、受入軒数が減少し、市内小学校を始め、首都圏等からの誘客が図れず、交流の促進に支障をきたしている。
--

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	受入数(校) ①市内小学校 ②市外小学校	受入数(校) ①市内小学校 ②市外小学校	受入数(校) ①市内小学校 ②市外小学校 ③首都圏中学校	受入数(校) ①市内小学校 ②市外小学校 ③首都圏中学校
	目標	①5校 ②5校	①5校 ②5校	①5校 ②5校 ③1校	①5校 ②5校 ③1校
	実績	①4校 ②2校	①5校 ②1校		
成果指標	名称	胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数	胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数	胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数	胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数
	目標	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人
	実績	592人	475人		
	目標比	46%	36.5%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	②	③			
<ul style="list-style-type: none"> 県内受入実践地域との広域連携により首都圏からの学校の受入れを復活させ、都市住民との交流を図る。 農泊受入先確保のため、「宿泊と農作業」の役割分担が可能であることの周知。 					

9 二次評価委員会所見

事業のあり方について、早期に検討すること。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330120		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者	
事務事業名	避難小屋・登山道関連事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	01	魅力的な観光プランの提供	予算科目	01	商工費
			小	20	避難小屋・登山道関連事業		03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連法規	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	登山者の安全と利便を図るため、飯豊連峰の避難小屋及び登山道の整備、管理を行う。楡形山脈の魅力を広くPRするためにガイドを配置するなどの計画である。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 飯豊連峰、楡形山脈の登山道の草刈等維持管理 門内岳・頼母木避難小屋の維持管理
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	10,134	9,295	10,499			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	2,492	2,849	3,205			
一般財源	7,642	6,446	7,294	0	0	
人件費（千円）	375	375	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※事業 ※事業 ※事業 任用(h) 業務費	○ 300	300	0	0	0	
総事業費+人件費	10,509	9,670	10,499	0	0	
財源「その他」内訳	観光振興事業寄附金 1,785千円、ヘリコプター物資輸送負担金 1,000千円、避難小屋売店収入 64千円					
事業費の主な支出内容	避難小屋物資輸送委託料3,960千円、避難小屋・登山道維持管理委託料2,794千円、鳥坂の森用地借地料574千円 ほか					
単位コスト	算出方法	総事業費÷登山者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		1,154円	756円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間	
	目標	①209日間 ②78日間	①168日間 ②85日間	①168日間 ②85日間	①168日間 ②85日間	
	実績	①209日間 ②75日間	①168日間 ②85日間			
成果指標	名称	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数	
	目標	①9,042人 ②2,222人	①5,000人 ②5,000人	①5,000人 ②5,000人	①5,000人 ②5,000人	
	実績	①4,410人 ②4,370人	①9,400人 ②2,890人			
	目標比	①48.8% ②196.7%	①188% ②57.8%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 飯豊連峰の登山者数について、登山口に至る県道が豪雨による崩落の影響で9月末まで通行止めとなり、大きく減少した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【R4】門内避難小屋・頼母木避難小屋トイレ外壁修繕
【R4～】登山道の草刈等維持管理

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	ボランティアによる、楡形山脈登山道の整備

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 避難小屋、登山道維持管理業務を委託している山岳会のメンバーの高齢化と後継者不足 飯豊連峰避難小屋管理棟の老朽化
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
登山道の維持管理に欠かせないボランティアを増やすための取組を、委託先の山岳会やボランティア団体の胎内MPCと検討する。					

9 二次評価委員会所見

--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330210		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者	
事務事業名	農業まつり事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	款	06 農林水産業費
主要施策	15	観光・交流	中	02	食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大		項	01 農業費
			小	10	農業まつり事業		目	05 農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域の特性を活かした農産物、加工品等を販売するイベントを開催し、市民への周知と消費拡大により地域活性化を図る。
主な実施内容	胎内いいもんマルシェの開催 アルビレックス新潟ホーム戦における農産物販売
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△			
評価の理由	来場者数が目標に達しなかったため				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

実行委員会を設立し中条町商工会が事業主体となり、引き続き新潟県消費喚起・需要拡大プロジェクト応援補助金を活用し事業の充実を図った。R5～広域連携農産物等販売促進事業で新潟市、聖籠町と3市町合同でアルビレックス新潟ホーム戦で農産物販売を行った。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	476	555	538		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	0		
一般財源	476	555	538	0	0
人件費（千円）	749	749	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業 ※事業 任用(h) 業務費	400	400	0	0	0
総事業費+人件費	1,225	1,304	538	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	使用料及び賃借料227千円、職員手当等110千円、需用費106千円、委託料55千円、報償費55千円				
単位コスト	算出方法 (総事業費+人件費) / 入場者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	350円	159円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	企画運営の主体は中条町商工会で行っている。

7 事業の課題

- ・ 農業者の出店がほとんどないことから、農業者等が参加していただくかたちなど在于方を検討する。
- ・ 屋外イベントであり、開催については天候に左右される。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開催日数	開催日数	開催日数	開催日数	
	目標	1日	1日	1日	1日	
	実績	1日	1日			
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	
	目標	6,000人	6,000人	6,000人	6,000人	
	実績	3,500人	3,500人			
	目標比	58.3%	58.3%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
農業まつりとして農作物が豊富な10月末に実施しているが、農業者の出店がほとんどなく商工業者がほとんどであり、天候が悪い時期でもあることから事業の在于方や実施時期を検討する。					

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330310		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者	
事務事業名	塩の湯施設管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目 款 項 目	03	民生費
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		01	社会福祉費
			小	10	塩の湯施設管理事業		03	老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意		関連例規	サンセット中条、高齢者健康増進ふれあい施設条例	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理制度により塩の湯温泉施設の管理運営を行い、健康増進と寄りあいの場を提供する。また、近隣市町村で運営している同様の施設等を考慮し、料金の見直しを検討する。
主な実施内容	塩の湯温泉施設の運営・管理を行う。 平成17年度より指定管理者制度に移行 ・村松浜高齢者健康増進ふれあい施設 ・サンセット中条
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 指定管理者の積極的なイベントの開催等により利用者数が増加したため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

内容	
----	--

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	9,238	9,432	9,815		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	1,515	1,410	1,944		
一般財源	7,723	8,022	7,871	0	0
人件費（千円）	412	412	0	0	0
正(h) ※事業費 委託年度 ※事業 任用(h) ※事業費	220	220	0	0	0
総事業費+人件費	9,650	9,844	9,815	0	0
財源「その他」内訳	給湯業務等受託収入 1,410千円				
事業費の主な支出内容	施設管理運営委託料5,355千円、修繕費1,755千円、光熱水費1,410千円				
算出方法	総事業費÷年間利用者数 ※工事費を除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	98円	86円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	株J. SECURITYによる指定管理を行っているため。

7 事業の課題

課題	光熱水費の高騰や必要修繕箇所など今後コストの係る部分が見受けられる。
----	------------------------------------

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	344日	344日	344日	344日	
	実績	315日	344日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	105,200人	105,200人	105,200人	105,200人	
	実績	94,044人	109,170人			
	目標比	89.4%	103.8%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
内容	定例会等、情報共有の場を増やし、経営状況や施設の状態を一層把握できるよう努め、必要な措置をスムーズに講じられるように努める。				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大
成果の方向性	④	②	①	⑤	③	⑥	⑦	
コスト投入の方向性								

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330311		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者	
事務事業名	海水浴場管理運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		01	商工費
			小	11	海水浴場管理運営事業		03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意	関連法規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市内はもとより市外からの観光誘客を図るために、村松浜に海水浴場を設置し、海水浴場開設期間中の場内を安全と衛生を保つ。海水浴客の減少傾向がある中で費用対効果も考慮しつつ事業の見直しを図る。
主な実施内容	海岸に安全を確保できる範囲・深さの区画を指定し、夏期の一定期間、海水浴場として開放し安全管理と運営を行う。
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○			
評価の理由	開設日数は目標を達成したものの、午後から天気が崩れ開設した日が何日もあり、利用者数が目標に届かなかったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【R5】シーズンオフ期の活用として、海水浴場第2駐車場がイベント会場として利用された。（スローカルマルシェ）

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,315	2,805	2,931		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	117		
一般財源	2,315	2,805	2,814	0	0
人件費（千円）	94	105	0	0	0
正(h) ※事業費	68	75	0	0	0
委任(h) ※事業費	0	22	0	0	0
総事業費+人件費	2,409	2,910	2,931	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	監視等業務委託料1,114千円、監視台組立解体委託料344千円、トイレ清掃業務委託料260千円				
算出方法	総事業費÷来場者数 ※工事費は除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単位コスト	1,123円	962円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	築地小・中学校生徒及び地域住民による海岸清掃ボランティア

7 事業の課題

昨年度より来場者数が増加したものの、依然目標を下回っている。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開設期間	開設期間	開設期間	開設期間	
	目標	35日間	30日間	30日間	30日間	
	実績	28日間	33日			
成果指標	名称	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	
	目標	4,000人	3,000人	3,000人	3,000人	
	実績	2,062人	2,650人			
	目標比	51.5%	88.3%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
引き続き早期の募集により、監視員の人員確保及び若手の登用につなげ、来場者の安全につなげる。来場者数については、開設期間の天候状況により変動するものの年々減少傾向であり、今後の事業の在り方について検討が必要である。					

9 二次評価委員会所見

関係事業者と連携した利用促進策を検討のこと。（継続）

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
	削減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330312		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	はまなすの丘維持管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
			小	12	はまなすの丘維持管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意			関連法規	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	昭和59年に新潟県が指定した桃崎浜自然環境保全地域の、学術的にも貴重なハマナスなどの海岸植物の群生地を、来場者に親しんでいただける環境を整備し、誘客を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び周辺の維持管理 公衆トイレや浄化槽の清掃 施設の修繕
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○			
評価の理由	おおむね達成したため。				

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

5 主な取組と実績（令和4年度～）

R5：はまなすの丘境界杭盛土復工事、はまなすの丘案内標識設置工事

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	1,723	2,301	2,174			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	98	89	130			
一般財源	1,625	2,212	2,044	0	0	
人件費（千円）	94	94	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※事業 ※事業 任用(h) 業務	50	50	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	1,817	2,395	2,174	0	0	
財源「その他」内訳	はまなすの丘自販機収入 89千円					
事業費の主な支出内容	トイレ清掃業務委託料596千円、案内標識465千円、浄化槽維持管理委託料398千円					
単位コスト	算出方法	総事業費÷来場者数 ※工事関係費を除く				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		17円	16円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	・地域と連携してはまなすの丘の管理を実施。

7 事業の課題

貴重なハマナスなどの海岸植物が減少傾向にある。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開設日数	開設日数	開設日数	開設日数	
	目標	365日	365日	365日	365日	
	実績	365日	365日			
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	
	目標	119,740人	119,740人	119,740人	119,740人	
	実績	102,640人	103,210人			
	目標比	85.7%	86.2%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
ハマナスなどが一部退化している状況であり、有識者からの意見・指導により景観づくりに努める。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330313		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	観光物産館管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
			小	13	観光物産館管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意			関連例規	きのと観光物産館条例	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理制度によりきのと観光物産館の利用者に観光情報および食事・休憩スペースを提供することで、地域の観光振興と活性化を図る拠点として整備する。
主な実施内容	きのと観光物産館に観光情報コーナーや食事・休憩スペースを整備し、施設の維持管理を行う。
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△			
評価の理由	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、入込客数の増加が期待されたが、客足が思うようには伸びず、目標比80%に満たなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

高圧気中開閉器更新工事、トイレ非接触化改修工事を実施した。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	7,513	3,104	4,178		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	26		
一般財源	7,513	3,104	4,152	0	0
人件費（千円）	412	375	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費	220	200	0	0	0
委任(h) ※事業費 ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	7,925	3,479	4,178	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	きのと観光物産館施設運営委託料 2,000千円				
算出方法	総事業費÷入込人数 ※工事費は除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	268円	158円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	地域と連携して施設周辺の環境整備を実施。

7 事業の課題

利用者数を伸ばすため、地域の方の満足度向上と新規顧客の利用促進を同時に行う必要がある。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	313日	313日	313日	313日	
	実績	310日	313日			
成果指標	名称	入込人数	入込人数	入込人数	入込人数	
	目標	37,350人	25,000人	25,000人	25,000人	
	実績	18,650人	19,540人			
	目標比	49.93	78.1%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
利用者数がコロナ禍前の水準まで戻っていないため、既存客の満足度を維持しながら新規顧客を獲得する方策を検討する。施設周辺の環境整備については、乙地区の団体と委託契約を交わしており、今後も継続していく方向である。当施設は乙地区で唯一のお食事処として親しまれており、重要な施設であるため、修繕等を計画的に行っていく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330316	
事務事業名	ロイヤル胎内パークホテル運営事業	担当課 商工観光課 担当係 観光振興係 担当者
基本政策	3 産業・雇用	事業年度 令和5年度 会計区分 一般会計
主要施策	15 観光・交流	大 33 観光・交流 中 03 施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策 小 16 ロイヤル胎内パークホテル運営事業 予算科目 07 商工費 01 商工費 03 観光費
事務区分	法定受託事務 法令による義務付け	自治事務 任意 ○ 根拠法令 関連法規 胎内市交流促進施設条例 関連計画 第2次胎内市観光振興ビジョン

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により胎内リゾートエリアの観光拠点となるロイヤル胎内パークホテルを管理し、宿泊・温泉・食事等の施設サービスを提供するとともに、市民に地域活動への積極的な参加を促し、都市との交流や各種の活動を通じて創意と工夫に基づく地域活動を推進する。
主な実施内容	・ロイヤル胎内パークホテルの管理 ・平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は胎内リゾートに運営を委託（令和4年度から2年間）
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 宿泊客数が減少し、目標値を下回った。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

施設改修 R4 96,725千円 交流促進施設改修工事 R5 163,339千円（リゾートプール改修工事、大噴水照明設備改修工事、設厨房設備改修工事）
--

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	180,804	300,202	169,158		
国・県支出金	0	16,380	0		
地方債	119,600	174,100	123,000		
その他	1,807	200	231		
一般財源	59,397	109,522	45,927	0	0
人件費（千円）	450	450	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費	240	240	0	0	0
委託年度 任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	181,254	300,652	169,158	0	0
財源「その他」内訳	伊藤孝二郎氏顕彰記念像維持管理基金繰入金 200千円				
事業費の主な支出内容	交流促進施設改修工事163,339千円、施設管理運営委託料121,670千円、交流促進プール改修工事監理業務委託料35,424千円、ホイールローダーリース料4,054千円 他				
単位コスト	算出方法 総事業費÷利用者数 ※工事関係費を除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	5,880円	10,514円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	(株)胎内リゾートによる指定管理を行っているため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 閑散期の稼働率アップ策の検討。 施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要となる。 従業員の意識改革が必要。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	365日	365日	365日	365日
	実績	360日	365日		
成果指標	名称	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数
	目標	14,500人	17,500人	18,380人	19,250人
	実績	14,300人	12,680人		
	目標比	98.6%	72.5%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	②	②			
<ul style="list-style-type: none"> 定点カメラ設置によるホテルからの景色やSNS発信を充実させ宣伝広告に努める。 指定管理者と連携し、従業員の意識改革に努める。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330317		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	奥胎内ヒュッテ管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
			小	17	奥胎内ヒュッテ管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市奥胎内野営場宿泊休養施設条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	奥胎内の大自然の立地条件を生かし、大自然を体感できる宿泊施設及び憩いの場を提供する。
主な実施内容	・奥胎内ヒュッテの管理 ・平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は胎内リゾートに運営を委託（令和4年度から2年間）
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	×			
評価の理由	土砂災害による県道の通行止めや電気ケーブルの故障により、奥胎内ヒュッテの営業ができなかったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

施設改修 R4	16,416千円（ヒュッテ屋根改修工事）
---------	----------------------

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	17,520	621	1,535		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	10		
一般財源	17,520	621	1,525	0	0
人件費（千円）	450	450	0	0	0
正(h) ※事業費 ※専任任用(h) 業務	240	240	0	0	0
委託年度	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	17,970	1,071	1,535	0	0
財源「その他」内訳	家具リース料403千円				
事業費の主な支出内容					
算出方法	土砂災害により未営業のためコスト算出不可。				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
コスト	2,453円	-			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	・（株）胎内リゾートによる指定管理を行っているため

7 事業の課題

課題	・平日の稼働率の改善が求められる。 ・県道崩落や電気ケーブルの故障など、不測の事態による、営業日数の減少が近年発生している。
----	---

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	150日間	150日間	150日間	150日間
	実績	71日間	0日		
成果指標	名称	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数
	目標	1,900人	1,200人	1,200人	1,200人
	実績	450人	0人		
	目標比	23.7%	0%		

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	-			
今後の方向性	・アウトドア志向の高まりを受け、ワーケーションを含め、自然を生かした様々なプラン作りの提案により客層を広げていく。 ・利用者を増やすため、SNSなどを用いた奥胎内の魅力を伝える情報発信力の強化を行う。 (県道崩落等により、営業できなかったため今後の方向性の評価は行わない。)				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330318		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	クアハウスたいない管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
			小	18	クアハウスたいない管理事業		目	04	クアハウスたいない費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	クアハウスたいない条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度によりクアハウスたいないを運営し、住民および胎内市に訪れる人々の保養と健康増進の場を提供する。
主な実施内容	プール、温泉、トレーニング設備等の管理運営
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△			
評価の理由	大規模な改修工事により閉館日が多く、利用者数が目標を下回っていたため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【令和4年度】	条例改正を行い施設使用料金の改定
【令和5年度】	機械設備改修工事（機械室ラインポンプ取替工事、男性サウナ室改修工事）

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	66,444	157,977	38,439		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	20,000	134,100	12,500		
その他	0	0	37		
一般財源	46,444	23,877	25,902	0	0
人件費（千円）	523	523	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費	279	279	0	0	0
委任(h) ※事業費 ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	66,967	158,500	38,439	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	施設改修工事116,352千円、管理運営委託料37,226千円、機械設備改修工事監査業務委託料3,421千円				
単位コスト	算出方法 総事業費÷利用者数 ※工事費を除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	752円	766円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	NPO法人スポーツクラブたいないによる指定管理を行っているため。

7 事業の課題

大規模な施設改修工事を行ったものの、施設内の照明や源泉ポンプの水位センサーなど、他に修繕の必要な箇所が多くある。
--

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	354日	354日間	354日間	354日間	
	実績	351日	244日間			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	117,000人	85,500人	85,500人	85,500人	
	実績	77,120人	54,300人			
	目標比	65.9%	63.5%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	④	②			
積極的な指定管理者との情報共有により、修繕箇所の優先度を見極め実施することで、利用者の満足度向上につなげる。また、指定管理者と協議して、会議室の有効活用や健康教室などの自主事業の実施により利用者の増加につなげる。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330319		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	樽ヶ橋遊園運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
			小	19	樽ヶ橋遊園運営事業		目	05	樽ヶ橋遊園運営費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	動物愛護管理法				
	法令による義務付け		任意	関連法規	樽ヶ橋遊園条例		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	樽ヶ橋遊園の遊具や設備の整備、約20種類の動物の飼養、施設の運営管理を行い、住民および胎内市に訪れる人々に健全な心身の憩いの場と動物とのふれあいの場を提供する。
主な実施内容	約20種類の動物の飼養、施設や遊具等の管理運営、園内の景観整備
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	44,247	42,425	33,026			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	12,400	14,300	0			
その他	31,847	26,852	33,026			
一般財源	0	1,273	0	0	0	
人件費（千円）	25,576	25,932	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費 任用(h) 業務	○ 12,574	○ 12,607	○ 0	○ 0	○ 0	
○ 16,670	○ 16,248	○ 0	○ 0	○ 0		
総事業費+人件費	69,823	68,357	33,026	0	0	
財源「その他」内訳	樽ヶ橋遊園入園料 16,498千円、樽ヶ橋遊園園内施設使用料 8,137千円、樽ヶ橋遊園売店収入 1,885千円、アトラクション体験料 230千円、樽ヶ橋遊園自販機収入 102千円					
事業費の主な支出内容	会計年度給与費12,662千円、工事請負費6,121千円、光熱水費3,677千円、飼料費2,598千円、委託料2,151千円					
単位コスト	算出方法	入場者1人あたり運営コスト (総事業費+人件費) / 入場者数 ※工事費・設計費を除く				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		982円	1,195円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	244日	244日間	244日間	244日間	
	実績	236日	244日間			
成果指標	名称	入場者数	入場者数	入場者数	入場者数	
	目標	50,000人	73,000人	73,000人	73,000人	
	実績	69,950人	57,177人			
	目標比	140%	78.3%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	△			
評価の理由	動物にもふれあえるレジャー施設として新潟市を始めとする近隣市町村から多くの集客を得ることができた。しかし、記録的な猛暑の影響などもあり、夏場の集客が落ち込んだため、目標達成には至らなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 第4駐車場拡張工事整備、メリーゴーランド改修工事、鳥舎害対策工事 敷地内出店イベントの通年実施
[R5] エゾシカフェンス増設工事、鳥舎害対策工事、堆肥置場築造工事

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	園内整備ボランティア、動物飼育ボランティア

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・収益性の向上 ・雨天時や猛暑時の集客対策
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②			
<ul style="list-style-type: none"> ・樽ヶ橋エリアだけでなく市内観光の中核を担う施設でもあることから、引き続き事業目的である健全な心身の憩いの場、動物とのふれあいの場を提供するために施設機能の適正な維持管理を行うとともにシーズンを通じた安定的な集客と収益性の向上、満足度の向上に努める。 ・遊具やツリーイング等のイベントの更なる周知にも努めていく。 ・来園者の傾向を捉え、SNS等を活用した効果的な宣伝を行っていく。 ・樽ヶ橋エリアでの相乗効果のため、隣接施設の割引券等を検討する。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性		拡充	④	②	①
		維持	⑤	③	
成果の方向性	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330320		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	胎内スキー場管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
			小	20	胎内スキー場管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市地域間交流センター条例・胎内市索道事業条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内スキー場を管理し、地域の特性及び資源を活かした雪国の独自性ある交流事業によって魅力ある地域づくりを推進する。
主な実施内容	・胎内スキー場の管理 ・平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は胎内リゾートに運営を委託（令和4年度から2年間）
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	×			
評価の理由	少雪の影響で予定どおりの営業ができなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

・リフト料金の値上げ R5:ロマンスリフトA線B線13号支柱建替、ロマンスリフトA線B線電動機・減速機改修工事、小倉沢ペアリフト支柱改修工事、駐車場改修工事、小倉沢ゲレンデ改修工事実施設計業務委託

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	160,342	161,641	151,527		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	147,100	151,300	138,700		
その他	0	0	247		
一般財源	13,242	10,341	12,580	0	0
人件費（千円）	225	225	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業 ※事業 ※事業 任用(h) 業務費	120	120	0	0	0
総事業費+人件費	160,567	161,866	151,527	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	スキー場改修工事14,875千円、修繕費6,441千円、小倉沢ゲレンデ改修工事実施設計業務委託料2,200千円、国有林野借地料1,829千円、圧雪車始業前点検業務委託料1,409千円 他				
単位コスト	算出方法 総事業費÷利用者数 ※工事関係費を除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	136円	653円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	・(株)胎内リゾートによる指定管理を行っているため。

7 事業の課題

・季節雇用の従業員の確保 ・シーズン以外でのゲレンデ管理

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	80日間	80日間	80日間	80日間	
	実績	77日間	19日間			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	55,000人	83,000人	83,000人	83,000人	
	実績	81,396人	15,780人			
	目標比	148.0%	19%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
・季節雇用の従業員確保やシーズン以外でのゲレンデ管理を、指定管理者と協議しながら進める。 ・冬期のスキー場営業だけでなくグリーンシーズンに活用ができないか検討が必要である。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性					
--------	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330322		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	観光交流センター運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費	
主要施策	15	観光・交流	中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費	
			小	22	観光交流センター運営事業		目	03	観光費	
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け			任意			関連例規	胎内市観光交流センター条例		関連計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理委託制度により観光交流センターを運営し、胎内市を訪れる観光客等に観光案内及び観光情報の発信を行う。
主な実施内容	胎内市観光協会を指定管理者として運営委託
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	HPやSNS等を活用した積極的な広報活動により利用者数を確保し、目標値を達成した。				

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

5 主な取組と実績（令和4年度～）

施設改修 R4	10,772千円
樽ヶ橋エリア駐車場改修工事 R5	17,864千円

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	22,298	29,174	11,842			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	10,200	17,800	0			
その他	0	0	30			
一般財源	12,098	11,374	11,812	0	0	
人件費（千円）	300	300	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※事業年度 ※任用(h) 業務	160	160	0	0	0	
総事業費+人件費	22,598	29,474	11,842	0	0	
財源「その他」内訳	観光交流センター管理運営委託料11,000千円、修繕費238千円、道の駅連絡会会費47千円 ほか					
事業費の主な支出内容						
単位コスト	算出方法	総事業費/利用者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		205円	198円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	胎内市観光協会に管理運営委託しているため。

7 事業の課題

樽ヶ橋エリア、胎内リゾートエリア、奥胎内エリアの入り口として、観光拠点の役割を果たしている。観光客の情報収集手段がHPからSNSに移ってきている中で、市の観光情報の総合的な窓口としてそれらの強化が不可欠である。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	365日間	365日間	365日間	365日間	
	実績	365日間	365日間			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	51,500人	58,500人	58,500人	58,500人	
	実績	56,330人	59,230人			
	目標比	109.3%	101.2%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	③			
<ul style="list-style-type: none"> 既存ウェブサイトの他、各種SNSによる情報発信の強化 市内事業者と連携したイベントを計画し誘客を図る。 施設内における市内特産品の品揃え拡大による販売及びPR強化 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	330410		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者	
事務事業名	観光振興事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	大	33	観光・交流	予算科目 款 項 目	07	商工費
主要施策	15	観光・交流	中	04	効果的・効率的な情報発信		01	商工費
			小	10	観光振興事業		03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け			任意		関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	第2次胎内市観光振興ビジョンの推進を図り、市が目指すべき観光地「どこにでもある田舎から、何度も訪れたいくなるふる里」の実現を図る。
主な実施内容	○観光コンテンツの造成 ○イベント・各種体験プログラムの開催 ○観光コンテンツの販売・PR いろいろ胎内等紙媒体制作、胎内観光NAVI等WEB媒体の運用
実施方法	市が直接実施+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○			
評価の理由	胎内星まつり、中条まつりなどの大規模なイベント等は再開されおおむね達成された。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【R4】	観光2次交通の利便性向上策として「たいたく旅割」を開始
【R5】	「たいたく旅割」の継続実施 「くるっと胎内」の秋季限定運行

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	50,965	35,663	38,627			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	111	91	11			
一般財源	50,854	35,572	38,616	0	0	
人件費（千円）	17,981	17,981	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※任用(h) ※事業費	9,600	9,600	0	0	0	
委託年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	68,946	53,644	38,627	0	0	
財源「その他」内訳	自動車損害共済金 91千円					
事業費の主な支出内容	胎内市観光協会負担金20,421千円、胎内市観光振興推進サポーター委託料3,619千円、印刷製本費 2,852千円、広告料1,012千円					
単位コスト	算出方法	施設・スポット来場者1人あたり運営コスト (総事業費+人件費) / 施設・スポット来場者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		71円	61円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	・集落や地域おこし協力隊、観光ボランティアガイドと連携した体験プログラムの提供。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 胎内リゾートエリアにおける展観施設等との連携強化。 二次交通の利便性向上。 観光協会の役割、在り方の見直し。
--

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数
	目標	①23 ②44	①23 ②44	①23 ②44	①23 ②44
	実績	①339 ②44	①164 ②44		
成果指標	名称	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数
	目標	①128,000人 ②1,000,000人	①128,000人 ②1,000,000人	①128,000人 ②1,000,000人	①128,000人 ②1,000,000人
	実績	①55,339人 ②969,020人	①109,445人 ②869,910人		
	目標比	①43.2% ②96.9%	①85.5% ②86.9%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	④	②			
胎内市の魅力が伝わる体験プログラムを県外に対しても積極的に発信・提供していくとともにインバウンド誘客にも積極的に取り組む。引き続き、インバウンドも含めた観光客の多様なニーズに応えるため、宿泊と観光プログラムを組み合わせた商品の造成や地域資源の有効活用等を目指して観光振興推進サポーターと協力しながら集落や観光関連事業者との連携を図っていく。					

9 二次評価委員会所見

--	--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				